

エンゲージメントと課題パフォーマンスの関係 —エンゲージメント尺度を作成して—

外山美樹 (筑波大学)

キーワード: エンゲージメント, 課題パフォーマンス, 大学生

問題と目的

近年, パフォーマンスを規定する動機づけ概念として, エンゲージメントが注目されている。エンゲージメントは, ワーク・モチベーションの研究に端を発した概念であり, 「職務上の遂行プロセスにおいて, 身体的 (行動的), 認知的, 感情的に自分自身を駆使して表現している状態」(Kahn, 1990) と定義される。近年では, 学校の学習活動へのエンゲージメントと学習成果との関連が検討されるなど (Reeve & Tseng, 2011), 教育現場においても注目を集めている。

本研究では, 課題遂行におけるエンゲージメント尺度を作成し, エンゲージメントと課題パフォーマンスの関連を検討することを目的とする。

方 法

参加者 大学生 64 名 (男性 28 名, 女性 36 名; 平均年齢 19.83 ± 1.30 歳)。

課題と手続き 課題として拡散的思考課題 (UUT; Guilford, 1967) と計算課題 (Toyama et al., 2018) を実施し, それぞれの課題後に, 先行研究を参考に作成したエンゲージメント尺度原案 (18 項目, 7 段階評定) に回答してもらった。

結果と考察

拡散的思考課題後に実施したエンゲージメント尺度原案の因子分析 (最尤法→プロマックス回転) の結果に基づき, “感情エンゲージメント ($\alpha = .93$)” “行動エンゲージメント ($\alpha = .89$)” “状態エンゲージメント ($\alpha = .84$)” “認知エンゲージメント ($\alpha = .81$)” の 4 つの下位尺度からエンゲージメント尺度を作成した (Table 1)。計算課題後に実施したエンゲージメント尺度の確認的因子分析の結果, 4 因子斜交モデルの適合度は高かった ($GFI = .925$, $AGFI = .906$, $RMSEA = .075$)。

エンゲージメント尺度と拡散的思考課題パフォーマンス (流暢性得点) の相関係数は, 感情が .33 ($p < .01$), 状態が .21 ($p < .10$), 認知が .28 ($p < .05$) であった。また, エンゲージメント尺度と計算課題パフォーマンスの相関係数は, 感情が .51, 行動が .39, 状態が .35, 認知が .39 (いずれも $ps < .01$) であった。

本研究の結果より, 課題遂行におけるエンゲージメントは, 課題パフォーマンスを直接的に予測する概念であることが示された。

Table 1 エンゲージメント尺度の因子分析結果ならびに基礎統計量

	<i>M</i>	<i>SD</i>	因子				<i>h</i> ²
			I	II	III	IV	
I. 感情エンゲージメント ($\alpha = .93$)							
この課題は楽しかった	4.97	1.50	1.02	.00	-.14	.03	.95
この課題が好きである	4.39	1.73	1.00	-.11	.02	-.05	.84
この課題をやっているとき, わくわくした	4.59	1.70	.88	-.12	.04	.09	.76
この課題はおもしろかった	5.38	1.32	.77	.13	-.01	-.01	.73
この課題は興味深かった	5.59	1.02	.47	.35	.02	.05	.62
II. 行動エンゲージメント ($\alpha = .89$)							
最後まであきらめずにこの課題に取り組んだ	5.75	1.15	-.03	1.06	-.13	-.10	.86
この課題に一生懸命に取り組んだ	6.05	0.76	-.06	.94	-.09	.11	.79
この課題に精力的に取り組んだ	5.80	0.93	-.04	.80	.16	-.10	.75
この課題に熱心に取り組んだ	5.98	0.79	.07	.75	.03	.11	.75
この課題に集中して取り組んだ	5.81	0.92	-.06	.50	.18	.06	.38
III. 状態エンゲージメント ($\alpha = .84$)							
課題に取り組んでいる時は, 課題のことしか考えなかった	5.73	1.26	-.08	-.10	.94	-.02	.71
課題に取り組んでいる時, 課題に没頭していた	5.73	1.13	-.07	.13	.79	-.06	.76
あっという間に終わった	5.81	1.17	.20	.09	.40	-.08	.33
課題に取り組んでいる時, 夢中になった	5.34	1.26	.34	.33	.40	-.06	.79
IV. 認知エンゲージメント ($\alpha = .81$)							
課題の解き方を工夫した	3.45	1.64	.00	-.03	.06	1.00	1.00
効率的な解き方はないか考えながらやった	3.67	1.80	.08	.04	-.08	.69	.48
どうすれば上手く解けるのか考えながらやった	4.02	1.25	-.11	-.10	.05	.65	.46